

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名	生活環境部
-------	-------

【平成26年度重点目標】

重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	資源循環型施設の早期建設に向けた地元住民との合意形成		
	資源循環型施設建設に向けた上田地域広域連合との連携及び地元住民との合意形成への取組 (1)意見交換会の開催、先進地視察参加へ向けた関係団体への申し入れ (2)意見交換会等による地域要望を踏まえた地域振興策の検討 し尿前処理下水道放流施設の整備検討 (1)建設に向けた地元住民との合意形成 (2)技術的検討（し尿等の下水道投入方式及び建設候補地の選定）	(1)平成26年5月まで (2)通年 (1)通年 (2)平成27年3月まで	(1)広域連合と共に、資源循環型施設建設対策連絡会を構成する8団体に申し入れを行う。（4月～5月） (2)広域連合と連携し、資源循環型施設建設対策連絡会と第1回目の意見交換会を実施（8月28日） (1)し尿前処理下水道放流施設の建設候補地の選定作業中 (2)技術的・経済的要件から投入方式及び建設候補地について比較検討中
2	資源循環型社会の形成に向けたごみ減量化の推進		
	生ごみの減量化 (1)乾燥生ごみ堆肥化の実証実験、ポイント制度の検討 (2)通風乾燥型生ごみ処理機のモニター調査を実施 紙類の資源化の推進 雑がみ回収袋を配布 ごみ減量化、適正処理の啓発と推進 可燃ごみ量の削減	(1)平成27年3月まで (2)モニター調査を9月から実施 9月頃までに配布 対前年度比 525トﾝ（ 1.5% ） (半年間)	(1)モニター調査により収集した乾燥生ごみが、JA堆肥センターで受入可能となる方法等について検証を行っている。「交換ポイント制度」の事業実施についてJAと確認し、具体化についての協議を継続している。 (2)7月に市民モニターを募集し、9月からモニター調査を実施中。市民モニター66人（平成27年2月まで） 市内240自治会のうち230自治会へ雑がみ回収袋を配布、うち説明会開催137自治会・開催数147回・参加者5,040人 可燃ごみ処理量 H25年度比 391トﾝ（ 2.1% ）（9月末現在）
3	再生可能エネルギーの利活用と地球温暖化防止対策の推進		
	再生可能エネルギー利活用の推進 小学校等の屋根等の貸付先の選定 環境保全のための施策の推進と環境放射線測定の実施 全市一斉アレチウリ駆除、河川一斉パトロール、環境放射線測定 自然エネルギー・省エネルギーの普及 第三次上田市役所地球温暖化防止実行計画の推進	12月までに2校以上の貸付先を選定 全市一斉アレチウリ駆除6月 河川一斉パトロール2回 環境放射線測定91回 太陽光513件、太陽熱20件、雨水32件、 防犯灯のLED化3,042件補助 緑のカーテン、夏・冬の節電対策実施	太陽光発電上田市所有施設屋根等貸付事業を、5施設で取り組むこととした。10月16日から募集受付を開始 11月中旬に貸付事業者決定の予定 全市一斉アレチウリ駆除を6月29日に自治会連合会との協働で実施 5月22日に1回目の河川パトロールを実施 空間放射線量測定を市内7ヶ所8地点で、継続実施中 太陽光295件、太陽熱5件、雨水19件（9月末現在） 防犯灯のLED交換2,755灯、LED防犯灯の新設143灯（9月末現在） 7月から9月まで、エコオフィスの徹底、クールビズ、緑のカーテンを取組内容とした夏の節電対策実施
4	犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進		
	県、警察及び各種団体と連携・協力し、悪質商法や特殊詐欺などの消費者被害防止対策を実施、消費生活相談体制の充実 防犯意識の高揚と地域における安全活動・暴力団排除の推進 駅前パトロール、夏祭り等における防犯パトロールの実施 子どもと高齢者の交通事故を防ぐための交通安全施策の推進 シートベルト、チャイルドシートの着用率の向上	一般、若者、高齢者など世代別啓発の実施 消費生活センター設置検討：平成27年3月まで 地域安全運動 年4回実施 駅前パトロール30回、夏祭りパトロール及び 青色回転灯防犯パトロール210回実施 安全教室100回実施 シートベルト着用率97%以上	県警等と連携した特殊詐欺等被害防止講習会、迷惑電話防止対策及び広報うただ・行政チャンネル等広報媒体を利用した啓発活動（26回）を実施。市消費生活センター設置検討として先進地視察及び有資格者調査を実施 春、夏の地域安全運動を実施するとともに、自治会等への防犯講習会(8回)、防犯指導員研修会を開催 駅前パトロールを26回実施（9月末現在）、夏祭り(祇園祭・上田わっしょい)における防犯パトロールを実施 青色回転灯防犯パトロールを169回実施（9月末現在） 交通安全教室を61回実施（9月末現在） シートベルトの着用率98.5%（9月調査）
5	市営住宅の環境整備と使用料の収納率の向上		
	市営住宅の住環境整備の推進及び2階建以下低層住宅の整備方針の検討 住宅使用料の収納率の向上 現年度分及び滞納繰越分の収納率の向上 誠意が見られない滞納者に対する積極的な取組	下水道接続[下之郷桜団地41戸]、給湯器・浴槽設置[千曲町団地18戸]、電気設備幹線改修[梅が丘団地164戸]・整備方針の作成 現年度収納率 95%以上 滞納繰越分収納率 前年度実績10.08%以上 法的措置を視野に入れた取組	9月29日に下水道接続事業を契約、他の2事業は11月上旬に契約予定 整備方針の作成に向け、8月28日に他市への視察研修を実施し、今後は建築課等と庁内会議を経て方針を作成予定 9月末現在の収納率 現年度分 90.4% 滞納繰越分 4.8% 誠意が見られない滞納者に催告書等を送付し、訴えの提起を行う者の絞込みを実施中

市長指示事項	<ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみの減量については、減量となった要因を分析し、引き続き効果的な施策を講じて進めること。 ・悪質商法・特殊詐欺被害防止については、県と連携して効果的に実施すること。・市営住宅の整備課題については、様々な手法も検討しながら解決に取り組むこと。 ・資源循環型施設については、広域連合と連携し早期合意形成に向けて鋭意取り組むこと。
--------	---